

Light

Vol.2
2024. 1



特集

私たちの目指すリハビリテーション 【リハビリテーション科】

コラム

年頭所感 医師紹介 先輩患者さんに聞いてみました
近況報告 研究成果報告 病診連携

外来診療日程表

	月	火	水	木	金	
内科	●		●	●	●	
脳神経内科	●				●	
整形外科	【1診】	●	● (午後) (第1・3週)	●	●	
	【2診】	●	●	●	●	
	【8診】				● (初診)	
	【9診】	● (初診) (第2・4週)				
整形外科・午後 (小児・手外科外来)	【1診】	● (手外科外来)		● (小児)		
	【2診】			● (小児)	● (小児)	
小児科 (予約制)	● (午前初診)	●	● (初診)	● (午前初診)	● (午前初診)	
	● (第1・3・5週)	●	● (第1・3・5週) ● (第2・4週)		● (第2・4週)	
精神科 (予約制)	●	●	●	●	●	
耳鼻咽喉科	●				●	
泌尿器科			●		●	
眼科		●				
放射線科	—	—	—	—	—	
リハビリテーション科		● (第1週)				

※●男性医師 ●女性医師

(令和6年1月 現在)

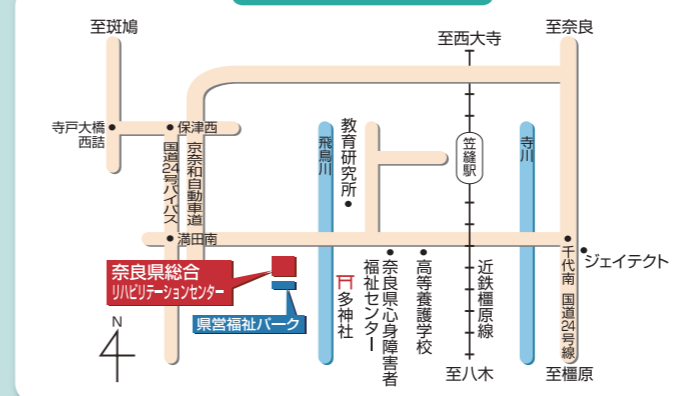
受付時間

ご予約のない方・・・午前8時30分～11時30分
午後1時00分～3時00分 (手外科外来・小児整形外科 (金曜日) の方のみ)
※小児整形外科 (水曜日) 初診受付 午後3時00分～3時30分
再診受付 午後1時00分～3時00分

- ・ご予約のある方は予約時間までに再来機で受付をお済ませください
- ・受診時は、健康保険証・診察券等をお忘れなくご持参ください
- ・交通事故及び業務上等の負傷等で受診される場合は必ず申し出てください



交通のご案内



交通機関

- 近鉄笠縫駅……………1.3km 徒歩約20分
- 近鉄田原本駅……………タクシー 約10分
リハビリセンター送迎バス……………約10分
(土・日・祝及び12/29～1/3は、運休)
- 近鉄大和八木駅……………タクシー 約15分

送迎バス時刻表

時刻表	近鉄田原本駅発		リハビリセンター発	
8時	15	45	35	
9時	10	30	00	20
10時	10	30	00	20
11時	10	35	00	25
12時	15	35	05	25
13時	35	55	25	45
14時	15	35	05	25
15時	20	40	10	30
16時	20	40	10	30

令和6年1月 現在

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
奈良県総合リハビリテーションセンター

〒636-0345
奈良県磯城郡田原本町大字多722番地
電話0744(32)0200(代)
FAX0744(32)0208
<http://www.nara-pho.jp/reha/index.html>



特集：私たちの目指すリハビリテーション
【リハビリテーション科】

「食べる」ことを目指したリハビリテーション



リハビリテーション科

ロボット機器を用いた歩行リハビリテーション



下村 一翔
Shimomura Ichito
4F病棟回復期専従セラピスト
脳卒中認定理学療法士



すべての患者さんが、ここに入院してリハビリを受けられて良かったと思えるように全力でリハビリに取り組みたいです。

特に医師や看護師とチームを組んでできることを常に模索しています。

どんな小さな可能性も逃さないしぶとさを持っていきますので、時に熱くなりますが、患者さんと一緒に退院に向けて歩んでいきたいです。

作業療法で調理練習



歩行練習のための装具を多数用意



福井 美晴
Fukui Miharu
3F病棟回復期専従セラピスト
作業療法士



3階回復期病棟が立ち上がった当初から関わっています。

看護師のみなさんが熱心で、私も作業療法士という専門職の立場から意見を求められることが多いです。その期待に応えるべく日々勉強しています。

また、整形外科の術後で痛みを訴える患者さんが多いので、寄り添うように心がけています。まだ若手ですが、患者さんから信頼されるよう取り組んでいます。

運転再開のためのリハビリ



電気刺激装置を使用した練習



コラム：医師紹介



多職種によるカンファレンスの様子

リハビリテーション病棟の内科医として、患者さんがリハビリに集中できるように内科的疾患の管理を引き受けています。

外来では脳血管障害の原因となる生活習慣病やその他の疾患の診療を行っています。

また脳血管障害や廃用症候群に対するリハビリを目的に入院される方の担当医として、経験を活かし多職種で協働して患者さん主体の診療を行うよう心がけています。

佐々木 理恵 Sasaki Rie

内科医
内科専門医、老年科専門医として
広く診療にあたる。

杉江 美穂 Sugie Miho

脳神経内科医
脳卒中患者・神経筋疾患
患者の診療に従事。

脳卒中や脳外傷などにより回復期リハビリテーション病棟に入院された方の担当医として、看護師や療法士等と協力し回復をサポートしています。

外来では、麻痺や高次脳機能障害など後遺症のある方や、神経難病など神経筋疾患の方の診療を行っています。日常生活に影響する何らかの症状があっても、できるだけ暮らしやすく能力を向上・維持できるように治療や支援を行いたいと考えています。

年頭所感

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は私の大好きな阪神タイガースが38年ぶりに優勝するというなんともうれしい年でした。
 今年も引き続き騎虎の勢いのごとく地域医療に貢献していきたいと思っております。
 当センターでお会いした際などは気軽にお声がけください。

川手 健次 Kawate Kenji

院長・整形外科医
 股関節を専門として
 多くの患者を治療



着任医師紹介



赤木 優月 Akagi Yuzuki

精神科医師
 患者さん一人ひとりに、寄り添ってその方が健康な人生を送っていただけるようお手伝いいたします。



西村 優輝 Nishimura Yuki

整形外科医師
 整形外科のなかで膝関節とスポーツを専門にしています。整形とリハビリで患者さんへよりよい医療を提供したいと思っております。

田辺 愛結 Tanabe Ayu

内科医師
 患者さんにとって、親しみやすく、相談しやすい雰囲気作りを心がけ、日々診療を行います。

また、家族と過ごせる時間に感謝しています

社会生活に復帰することが楽しみ

病気になったのは突然のことであり、自分も含め家族も戸惑ったことだと思っています。

入院中のリハビリは、普段の運動習慣がない私にとってはかなり疲れるものでした。そんななか、コロナ禍でなかなか面会ができない家族が、スマホで連絡をしてくれてくるのが本当に心の支えになりました。

最初は数m歩くのもやっとでしたが、退院するころには1000mくらい続けて歩けるようになりました。

毎日あるリハビリに、嫌気がさすこともありましたが、退院までやり通したことで得たものは大きいと思います。

退院後は社会生活に復帰し、心配してくれた会社同僚や上司、多くの友人とまた会えることを楽しみにしています。まだまだ長い人生、自分の身体をいたわりながら、楽しみたいと思います。

コラム：先輩患者さんに聞いてみました

Y・Iさん(30歳代)

過去に、くも膜下出血により一時歩行困難となるも、懸命なリハビリにより、歩行可能となる。退院後は、大好きなバンドのライブを観に行けることや家族と過ごす時間の大切さを改めて感じるようになったそうです。写真は退院翌日に行った娘さんの運動会の様子だそうです。今後は、好きだったバンドのライブやキャンプに出かけたいとのこと。

2023リハセンふれあいまつり

11月18日(土)に、2023リハセンふれあいまつりを開催しました。

今年度は奈良県看護協会「まちの保健室」とコラボレーションした骨密度測定等の健康チェックや医療スタッフによる相談コーナーが好評で、お子さんから80代までの幅広い年齢層の方や車椅子ご使用の方と多くの方々にご来場いただきました。また、お子さんには、ボーリングや輪投げ、ボール投げの楽しく遊んでいただけるコーナーを設けにぎわいました。

理学療法士による公開講座は、股関節を痛めない為の日常動作での注意点や体操の仕方を分かりやすくお伝えしました。職員によるミニコンサートはお子さんとコミュニケーションを図りながら和やかな雰囲気の中で演奏が行われました。

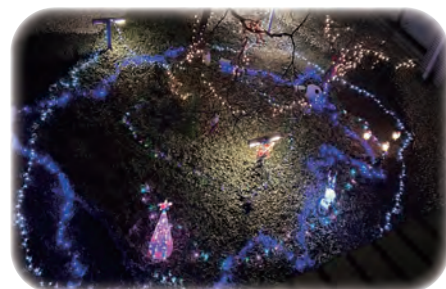
ご来場いただきました皆さまありがとうございました。日々の健康にお役立ていただければ幸いです。



クリスマスイベント

患者さんに季節を感じる機会をとセンター各場所にクリスマスイルミネーションを設置しました。12月19日にはクリスマスロビーコンサートも開催いたしました。

病棟ではクリスマス行事食を提供するなど気持ちが明るくなるように毎年工夫しています。



中庭のイルミネーション



患者さんと共に
クリスマスを楽しむ院長



ロビーコンサート

院内に寄付つき商品の自販機を設置



右から、寺山副会長、大塚社長、川手院長

第1号購入者となった川手院長

県共同募金会(吉川正利会長)が主催となり、センター内に寄付つき商品の自販機を設置しました。設置にあたり、センター内で売店を運営されている県脊髄損傷者協会の平岡俊二会長が協力し、自販機は奈良ベンダー(大塚康夫社長)が無償貸与してくださいました。

この自販機で購入した商品1点あたり1円を赤い羽根共同募金に寄付する仕組みとなっています。センターにお越しになられた際はぜひお買い求めのうえ、ご協力よろしくお願いたします。

退院患者サポート室 開設

退院患者サポート室

場所 1階 患者相談窓口
時間 平日 9時～17時



令和5年11月 退院患者サポート室を開設いたしました。

奈良県総合リハビリテーションセンターでは、今までも患者支援センターで専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが、患者さんやご家族が入院前、入院中、退院後の生活を安心して過ごせるように支援を行ってまいりました。

今回、新たに退院患者サポート室を開設し、多職種のスタッフによる体制の強化を行い退院後の患者さんやご家族の困りごとに対してより積極的なサポートに努めてまいります。

「入院中のリハビリで出来ていた生活動作が出来なくなった」「就労や地域の相談先について」「ご家族から見た患者さんの違和感」など気になることがあればお気軽にご相談ください。

院長が地域を訪問！



診療科 整形外科、外科、放射線科、
リハビリテーション科
住 所 磯城郡田原本町251
電話番号 0744-32-8888

左から、森田院長、川手院長

森田整形外科医院

貴院の特徴を教えてください。平成3年の開業以来、地域に根ざした診療を行っております。いろんな患者さんが来られています。開業医なので、整形外科全般の診療を行っています。
院長のモットーもしくは好きな言葉を教えてください。好きな言葉を教えてください。整形外科疾患しか診療はできませんが、何科のことでも聞かれば、私の知る限りアドバイスはさせていただきます。日常診療においても患者の皆様にも協力していただかないと治療できませんし多くの先輩や後輩の先生方のおかげで、今まで診療を続けていくことができました。すべての皆様に「ありがとう」の気持ちです。
地域の皆さまへメッセージをお願いします。71歳になりましたが、もうしばらく地域の皆様方の力になれたらと思っております。

▽田原本町内で長年診療をされている森田吉英院長、写真撮影の際にもセンター職員に対しても優しく接していただきました。インタビューにある「ありがとう」の気持ちを大切にされている様子が伝わりました。

書籍掲載

人工関節に関する専門書に院長執筆記事が掲載

掲載誌 | 南江堂 人工関節置換術
「カスタムメイドシステム」
南江堂 別冊整形外科 人工関節における進歩
「カスタムメイドインプラントの進歩」

整形外科医 院長 川手 健次 Kawate Kenji

股関節外科を志した時から35年、令和3年には第48回日本股関節学会を開催させていただきました。また、昨年は奈良県立医科大学カスタムメイド人工関節に関する文章を上記に掲載させていただきました。

当センターにおいてもカスタムメイド人工関節置換術の症例があります。他病院からの紹介状は不要です。股関節の痛みで歩くことが困難な方はご相談ください。診察、手術からリハビリテーションまで多職種のスタッフが患者さんを手厚くサポートいたします。



論文掲載

脳卒中患者の不整地歩行の特徴についての論文が掲載

論文名 | Characteristics of uneven surface walking in stroke patients: Modification in biomechanical parameters and muscle activity
掲載誌 | Gait & Posture



概要の閲覧はこちらから

リハビリテーション科 理学療法士 乾 康浩 Inui Yasuhiro

脳卒中後の歩行障害により屋内はもちろん、屋外の歩行が困難になることがあります。これまでは、屋内環境での歩行についての研究が多く、実生活で遭遇する屋外環境での歩行を調査した研究は少ない状況でした。

そこで、不整地の環境を自作し、屋内で屋外環境を再現することで屋外歩行の特徴を調査しました。

今回の研究結果から、脳卒中後の患者さんが、実際の社会生活で遭遇する凸凹路面でどのように困るかが見えてきました。

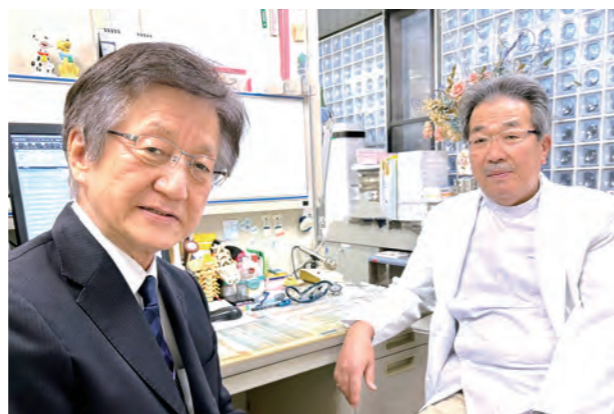
今後も、脳卒中後の歩行障害の改善に貢献できるような研究を進め、患者さんのリハビリに活かしたいと考えています。



根元整形外科眼科医院



診療科 整形外科、眼科、内科、外科、
リハビリテーション科
住 所 磯城郡田原本町秦庄137-1
電話番号 0744-33-8211



右から、根元院長、川手院長

貴院の特徴を教えてください。平成4年に開業し8月で32年目を迎えました。地域の人から愛される医院を目指し整形外科・眼科の診療を行っています。コミュニケーションを大切にしており、受診された患者さんの言葉に耳を傾け、必要に応じて専門の医師への紹介を行っています。奈良県総合リハビリテーションセンターとは尾崎二郎院長のご在任中（平成18年頃）から患者さんそれぞれの症状改善のために医療連携をするようになりました。
院長のモットーもしくは好きな言葉を教えてください。好きな言葉を教えてください。モットーは、よく働き、よく遊ぶかなあ。」と根元院長。趣味で釣りをされるとの事で、休日には自然の中でリフレッシュされている様子です。
地域の皆さまへメッセージをお願いします。地域の皆さまのホームドクターとして心のこもった医療サービスの提供を目指しています。気になる症状をお気軽に相談ください。

▽インタビュー中は常にこやかに答えいただき、インタビュー後は、翌日に当センターで手術する患者さんの様子を執刀医の川手院長に確認される根元成佳院長でした。